令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立 義務教育学校八束学園前期課程 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○メモや動画(イラスト付きの問題)の工夫や効果を読み取ることができている。 ○考えと、それに対する理由や事例など、情報と情報との関係をとらえることができている。 ○自分の考えを、条件に合わせて文章で表現する力が身に付いている。	・文を読む力を高められるよう、読書量を増やし、読書の質についても意識をもつ。 ・漢字や語彙の学習を継続するとともに、実際の文章の中で使う機会を増やし、定着を図る。 ・情報を整理して、引用をするなどの条件を設定して考えをまとめる活動を取り入れる。
	課題	●文や文の一部(イラストなしの問題)の工夫や効果を読み取ることができにくい。 ●文章の中から情報を整理して、引用をしてまとめることが難しい。 ●基礎的な漢字「短い」の定着が見られる一方、漢字「不思議」の書き取りや、短答・記述形式の問題ができにくい。	
算数	成果	○基本的な計算はできている。計算会等で、普段から繰り返し練習している成果が見られる。	・具体物の操作活動を取り入れる。 ・表の整理は、数字を書き込むだけでなく、言葉で説明できるように意識させる。また、他教科と関連付けて取り組む。(体育や学級活動等) ・基礎的な学力の定着を図るために、帯で5分ほど時間を取り、授業前に実施する。 ・計算会に、記述式の問題を取り入れる。(1問程度)
	課題	●図形・データの活用に課題が見られる。図形の面積と体積の違いが分かりにくい。 ●文章題の意図を読み取ることができにくい。 ●イメージ化ができていない。(分数の大きさを、数の大きさだけで見とる・表の整理ができていない等)	

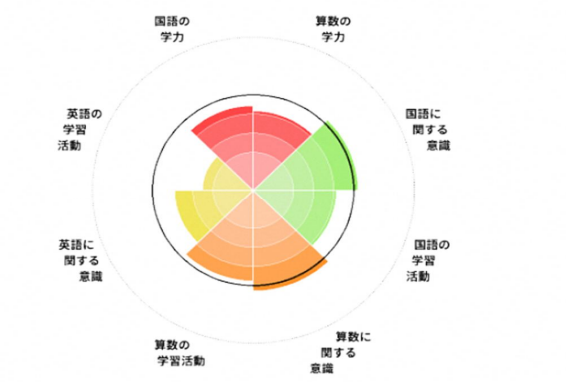
(2)質問紙調査から見られた傾向

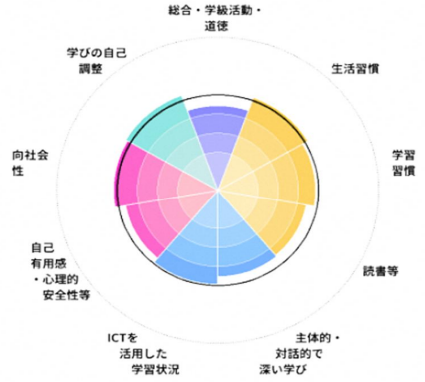
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○学習時間の確保や学習の方法を自分で考えている子が多い。 ○自己肯定感が高く、将来の夢や目標をもって生活することができている子が多い。	・家庭学習の時間(70分)を読書の時間を含むことで、読書時間を確保するとともに、読書記録カードに「本のタイトル」「ページ数」「評価(☆☆☆)」を記入させることで、読書への意欲を高める。 ・自分の行動が社会の役に立つと実感できるような課題設定をする。
	課題	●学校の授業以外で30分以上読書をしている子が極端に少ない。 ●社会貢献をしたいと思いが県、全国平均と比べて低い。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・前期課程・後期課程を交えた教科部会を実施し、各教科における課題やその克服方法、身に付けさせたい力について考え、9年間の学びの連続性を意識できるような学習計画を立案する。 ・総合的な学習の時間や各教科の授業の中で自らの考えを発表する際に、相手の立場に立って分かりやすい伝え方や表現の方法ができるように指導する。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

28 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

